

本との
出会いは
一期一会

教員から
学生へ
推薦図書

学生みなさんに読んでほしい一冊を、大学の蔵書の中から紹介していただきました。学生時代に会った本や、息抜きに読める本などさまざま。ぜひ図書館で探してみてくださいはいかがでしょうか。

RECOMMEND BOOKS
FROM TEACHERS



★ Java言語プログラミング
レッスン 上・下



名古屋校舎
岩田 真典
経営学部

結城浩 著
(ソフトバンククリエイティブ 2005)
名図開架 007.64:Y97:1 - 2

Java言語は世界におけるプログラミング言語人気ランキングで、常に上位に位置する言語です。日本においても大学のプログラミングの授業や商業高校の情報処理科目で用いられることも多い言語でもあります。本書はそのJava言語を学ぶための初心者向けの良書です。特に下巻のオブジェクト指向についてこの本でしっかりと学べば、他のオブジェクト指向言語を学ぶ際にも抵抗なく入れるのではないのでしょうか。ただし、本書は入門者向けよりは用語や説明がやや難しいところがありますので、Java言語を少し学んだことがあるかほかのプログラミング言語を経験したことがある人向けだといえます。



★ もうすぐ絶滅するという
紙の書物について



豊橋校舎
山本 昭
文学部

ウンベルト・エーコ、ジャン＝クロード・カリエール 著
工藤妙子 訳 (CCCメディアハウス 2010)
名図開架 020.4:E19

ウンベルト・エーコ (1932-2016) と映画作家のジャン＝クロード・カリエール (1932-) の対談を載せた読みやすい本です。「本が好き」という人は、「本というもの」が好きなのか、「著作を読むこと」が好きなのかわからないことがあります。この2人の対話は、そのような区別を無意味と感じさせます。本の蒐集や中身の話が盛りだくさんです。とくに「贗物」を扱った部分は、昨今の「フェイク・ニュース」のような問題に切り込んでいて、メディア論として、情報学者が書くものより情報の本質に迫っているような気がします。日本語の初版は2010年に出ていますが、「今どきの本」らしからぬ装丁で出されているのも楽しめます。「装丁」ってなーに？という人は日野祐希「カラフル ノート」というラノベを読んでみてください。



★ 一茶の相続争い
——北国街道柏原宿訴訟始末



名古屋校舎
大川 四郎
法学部



高橋敏 著
(岩波書店 2017 [岩波新書])
名図文庫 080:1952:d1674 豊図文庫 911.35:Ta33

俳聖小林一茶には百姓弥太郎という意外な側面がある。江戸出奔二十五年後、突如郷里にもどる。老父の最後を看取ると、その遺書を盾に、弥太郎は、異母弟弥兵衛に対し、約十年間にわたる遺産分割要求に臨む。彼の主張は、当時の分割制限令そして地元の相続慣行にも反した。本書は、長野県信濃町に残る史料類をもとに、当時の相続実務や地元世話役の実像を明らかにしつつ、弥太郎が勝訴するまでを描き出す。印象的なのは、敗訴にも関わらず異母兄没後はその顕彰に努めた弥兵衛、そして、紛争解決のために奔走した歴代名望家らである。彼らは、百姓ながら、世事に通じ、高度な文章力を駆使した。こうした地方の高い文化が、明治以後の西洋法継受を支える一因だったのではないかと。



★ 王様でたどるイギリス史



名古屋校舎
吉川 剛
現代中国学部

池上俊一 著
(岩波書店 2017 [岩波ジュニア新書 847])
名図開架 288.493:133

スコットランド独立運動やEU離脱など、その動向が気になる英国である。本書は、その英国ならびにコモンウェルス (英連邦) を知る上で、格好の入門書である。アングロ・サクソン時代から説き起こし、現在に至る英国通史を「国王」から切り込むことで、いかに「イギリス国民」が形成され、「フェアプレー」や「背広」を含め「イギリス的」コト・モノが出来上がってきたのかを浮かび上がらせている。また立憲君主制、憲政、議会、議院内閣制、司法など、英国において長い時間をかけて醸成され成立した近代型国家を考える上でも示唆に富むのである。学生諸君には、是非とも立ち止まり考え、そして関連事項を調べながら、読むのを薦める次第である。

★ 戦後史の
正体



孫崎享 著
(創元社 2012)
名図リザーブ 319.1053:Ma29

現代社会は情報化社会といわれている。とりわけ、インターネットの普及によって、情報があふれているように信じられている。しかし、情報の質を冷静に見れば、それらの情報の大部分は私たちにとって役に立たないものばかりではなく、有害である。出版業界の中にも有害な

★ 日本は本当に
戦争する国に
なるのか?



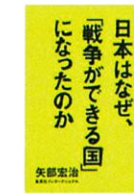
池上彰 著
(SB新書 2015)
名図開架 393.2:133

★ 日本会議の
研究



菅野完 著
(扶桑社 2016)
名図開架 361.65:Su25

★ 日本はなぜ、
「戦争ができる国」
になったのか



矢部宏治 著
(集英社 2016)
名図開架 319.1053:Y11

出版物はたくさんあるが、良い本を選べば、偽りの情報にだまされることは無くなるだろう。日本の政治について、本当のことを知りたい学生に役に立つ読みやすい本を紹介する。

★ 知ってはいけない
隠された
日本支配の構造



矢部宏治 著
(講談社現代新書 2017)
豊橋開架 319.1:Y11



豊橋校舎
迫田 耕作
短期大学部



★ 経済学の宇宙



名古屋校舎
塚本 恭章
経済学部



岩井克人 著
(日本経済新聞出版社 2015)
名図リザーブ 331.04:193 豊図書庫 331.04:193

きわめて雄大で刺激的な著書だ。経済学という学問との格闘の軌跡、その全貌が実直に語られている。知的高揚感とともに、深く純粋な感動すら読者に与えらるだろう。若くして米国MITに留学した著者は、ノーベル賞学者のサムエルソンやソローに師事し、主流派経済学研究の「頂点」を極めた。旺盛な知的好奇心はその後に主流派批判へ転じ、学者人生としての「没落」がはじまったという。しかしそれは独自の岩井経済学の構築にむかう第一歩となる。不均衡動学や貨幣論・資本主義論の研究はつとに有名。近年は、会社・法人論など経済学分野を超えた研究も推進している。エコノミストが選んだ2015年ベストワンの作品。ぜひ多くの学生が本書にチャレンジしてほしい。



★ 図解でわかる ホモ・サピエンスの秘密



車道校舎
伊藤 博文
法科大学院



インフォビジュアル研究所
(太田出版 2017)
名図開架 209:j54

人間はどうやって進化してきたのか、なぜ世界中のどこに行っても人類が生息しているのか、疑問に思ったことはありませんか？ 私はずっとそれが不思議でした。その答えのヒントを教えてください。同じテーマでは、ユヴァル・ノア・ハラリ著『サピエンス全史(上・下) 文明の構造と人類の幸福』河出書房新社がありますが、ちょっと厚すぎるかなと思う人は是非この本を読んでみてください。『サピエンス全史』のエッセンスが上手く図解化されて見やすくまとめてあります。世界史が上手く図解されていて楽しく読めます。ですから疲れません。私は、「あとがき」に書かれている「幸福」についての箇所が面白かったですね。



★ 沈黙の春



豊橋校舎
鄭 智允
地域政策学部

レイチェル・カーソン 著 青樹榮一 訳
(新潮社 1987)
豊橋書庫 519:C22 名図開架 519:C22:64

この本は殺虫剤や農薬の大量使用がもたらした自然環境破壊を「鳥達の鳴かなくなった春」として描写し批判したことで有名である。自然界に君臨しようとする人間の行為を、科学者の目線と、かつて小説家を目指した著者の感性で丁寧に叙述し、環境汚染への警告を鳴らす。またこの一冊が当時のケネディー-米政権の環境政策に転換をもたらしたことも忘れてはならない。合わせて、現在私たちが直面する放射性汚染問題をはじめとする様々な環境問題には、きっかけとなる人間の行為があったことを認識すると同時に、その解決のため各々の立場から政策転換を試みた人々の営為を忘れてはいけない。世界を変えた一冊。この機会にぜひ手に取っていただきたい。



★ 学術書の編集者



名古屋校舎
吉本 篤子
国際コミュニケーション学部

橘宗吾 著
(慶応義塾大学出版会 2016)
名図開架 021.4:Ta13

名古屋大学出版会の編集者による、学術書のなりたちを論じた本。学術書という博識な専門家が書いた論文をただまとめたものとする人もいるかもしれない。しかし実際には、過去の知的遺産から学び、未来に知的世界を引き継ぐために新しい知を読者につなぐことをめざして作られている。そのために編集者の企画が重要になることも多い。価値ある本を作るためには編集者自身が読者代表であると同時にセミプロ的にテーマの重要性を判断する必要がある。実際に本が出来上がるまでには実に長い時間がかかる。本書ではこの過程の一端を見ることが出来る。序章では出版の経済的状況や今後の展望にもふれられており、出版の仕事に関心のある人は必読。本が好きで、大学で思い切り勉強したい人はもちろんのこと、専門書に苦手意識をもっている人にも推薦したい。